

Newsletter from the Principal's Desk

自らの賜物を 最大限に活かし 拓かれた未来へ

No. 14

Monday, July 14, 2025

函館市杉並町23-11

遺愛女子中学校高等学校

感動の歌声！ 合唱コンクール！

審査委員長 西田正史先生の全体講評

本日は合唱コンクールの開催おめでとうございます。このように全校で合唱コンクールを開催できるということは、とても意義深いことと考えています。今日審査にあたった畑中先生、五島先生のご意見も含めて、代表して講評をさせていただきます。

まず、皆さんの合唱は本当にレベルが高い！ 演奏が丁寧で、リズムも、ハーモニーも素晴らしい、そして何より「ことば」がよく聞こえてくる、そんな感想を審査員全員で共有していました。少し前のことを振り返りますと、今の高校3年生が中学1年生のころには「緊急事態宣言」というものが出ていたように思います。学校生活では数々の制限がありました。「大きな声を出してはいけません。」「歌を歌ってはいけません」と言われていました。そして今の高校3年生が高校1年生になった時に「新型コロナ」が5類となりました。今年はそうしてさまざまな制限が緩和されて3年目となります。そうした中で、皆さんの合唱のレベルもどんどん上がってきているんだなということを強く感じました。選曲を見ても、本格的な合唱曲が歌われるようになっていて、素晴らしいと思います。中学⇒K1⇒K2と、学年が上がるにしたがって高いレベルの合唱になっていました。そして高校3年生は、「さすがに3年生」という感じで、安心してステージを見上げることのできる素晴らしい合唱でした。各クラス賞はついていますが、どのクラスもすばらしく、全体として本当にレベルの高い合唱でした。本当に今日は素晴らしい合唱を聴くことができる楽しい時間でした。ありがとうございました。

C1A(銀) C2A(銀) C3A(金) K1A(金) K1B(金) K1H(金) K1I(金) K1J(金) K2A(銀)
K2B(金) K2C(金) K2G(金) K2H(銀) K2I(金) K2J(金) K3A(金) K3B(金) K3C(金)
K3H(金) K3I(金) K3J(金)

個人賞受賞者の声

中学指揮者賞：C2A窪田有希さん

この度、「指揮者賞」を受賞しました。このような賞をいただけて胸がいっぱいです。この1ヶ月ではお昼休みや放課後、時には10分休憩など時間を見つけたら皆で声をかけ合い、それぞれの意見を出し合いながら毎日熱心に練習をしていました。なかなか上手くまとめられなかった時も度々あったのですが、それも含めて良い経験となりました。これを基に、これからも様々な事に挑戦していきたいと思います。



指揮者賞窪田さんと伴奏者賞福島さん

中学伴奏者賞：C3A福島侑芽さん

この度は、このような賞をいただけたこと、本当にうれしく思っています。伴奏を弾くのが始めてで、苦労する場面もあり、本番は緊張もしましたが、練習を重ねてよかったです。クラスみんなの歌、励まし、ご指導くださった先生のおかげで取れた賞だと思うので、とても感謝したいです。本当にありがとうございました。

K1指揮者賞：K1J筈口奈々さん

金賞と指揮者賞を頂けたことを大変光栄に思います。授業の中で練習時間を多く取っていなかったため放課後や昼休みに練習し、クラスで協力しながら合唱を作りました。本番へは教室で練習しているような落ち着いた気分で臨めました。努力が賞という形で実りとても嬉しいです。この経験を糧にし、来年へ繋げたいと思います。

K1伴奏者賞：K1I木村 葵さん

今年初めての合唱コンクールで伴奏者賞をいただけてとても嬉しいです。最初に曲が決まってからたくさん本家の曲を聴いて練習しました。切なく優しい雰囲気曲だったので声とピアノの優しい音色が合うように心がけて弾きました。毎朝音楽室のピアノを借りて練習していました。何度もつまずくところや間違ってしまうところがあったのでそこを克服するためにゆっくりなテンポにしたり部分練習を重点的に行いました。タブレットで録音して客観的に聴いてみて改善点を修正していきました。勉強と部活とピアノの練習の両立が難しかったのですが、クラスの人達の応援や水田先生がアドバイスをしてくださったおかげで頑張ることができました。本番はとても緊張しましたが今までの練習の成果を出すことができ、良い経験になりました。



指揮者賞筈口さんと伴奏者賞木村さん

K2指揮者賞：K2J木村日菜向さん

今年の合唱コンクールでは、私が前からずっと歌いたかった地球星歌で指揮をすることができ、また、指揮者賞をいただくこともでき嬉しかったです。コンクールが近くなっても歌詞を覚えていない人がいたり、時間通りに練習が始められなかったりと不安なことは多かったのですが、それでも本番はどのクラスよりも笑顔で歌いたいと思い練習していたので、当日はみんなと笑顔で全力で歌うことができとても楽しかったです！！



伴奏者賞井上さんと指揮者賞木村さん

K2伴奏者賞：K2I井上さやさん

クラスの雰囲気がとても良いので、みんなで声をかけあって最後まで楽しく合唱をすることができました。指揮者の2人を筆頭に練習を重ねれば重ねるほど、みんなの思いが1つになり歌がまとまっていくのが感じとれて、とても嬉しかったです。本番前には、ガチガチに緊張している私にクラスメイトが優しく声をかけてくれたので、リラックスして望むことができました。今回伴奏者賞をいただくことが出来たのは、クラスみんなのおかげです。ありがとうございました。

K3指揮者賞：K3H石垣真央さん

この度は指揮者賞をいただくことができて、本当に光栄です。うまくいかず不安になることもありましたが、クラスみんなが温かく支えてくれたおかげで、最後まで全力で頑張ることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

K3伴奏者賞：K3H藤井はんなさん

伴奏者として見た、今までで一番真剣に音楽を楽しんでいたみんなの姿に感動しました。前日まで不安もありましたが、自分の音楽を全て注ぎ込んで合唱を作り上げ、私たちの想いを込めた歌を届けることができとても嬉しく思います。3年間このクラス全員で着実に成長でき、本当にかけがえない思い出となりました。みんなありがとう！！



指揮者賞石垣さんと伴奏者賞藤井さん

夏期教育実習を終えて

3週間にわたる夏期の教育実習が7月12日土曜日、最終日となりました。6人の教生先生が、遺愛での実習を終えて大学に帰られました。最後のホームルーム時には、担当クラスの生徒のみなさんとの別れを惜しむ様子が見られました。名残惜しくて、涙💧・・・という教室もあったようです。

津田塾大学学芸学部英語英文学科 丸山茉綾

教育実習を通して、生徒の皆さんや先生方からたくさんの温かさをいただき、心より感謝しております。「英語の授業が楽しかった」「また遺愛に戻ってきてほしい」という言葉は、私の励みとなり、実習に向き合う力を与えてくれました。HRで仲間に入れてくれたC2A、授業を楽しんでくれたC3A・K1H・K1I、授業を持っていなくても話しかけてくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。改めて、私は遺愛が大好きです！

東京家政大学家政学部造形表現学科 須田さくら

3週間という短い期間でしたが、教職員の皆さま、生徒の皆さんに支えられ、無事に教育実習を終えることができました。母校である貴校で教育実習をさせていただけたことは、本当に光栄で、かけがえない経験となりました。この学びを活かし、残りの大学生生活を充実させていきます。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。次は卒業生として、大好きな遺愛に必ず戻ってきます！

札幌学院大学 人文学部こども発達学科 西山 澄

今回の教育実習では、授業や行事を通して生徒の成長に触れ、自分もより良い教師を目指して学び続けたいと感じました。先生方からの丁寧なご指導や、生徒からの温かい言葉に支えられ、充実した実習となりました。日々の小さな気づきや変化が学びとなり、教えることの難しさとやりがいを深く感じました。今回の経験を今後の学びにしっかり活かしていきたいです。遺愛女子中学高等学校のみなさん、3週間ありがとうございました！

横浜市立大学 国際教養学部 藤枝 優生

3週間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。自分の母校である遺愛で、授業見学ではそれぞれの先生方の熱意や工夫を知ることができました。また授業実習を行わせていただいたことで、日々成長を実感できる教育実習を過ごすことができました。HRのK1Jクラスの皆さんとは、合唱練習や日々の生活の中でたくさん関わる機会をいただき、私にとって一生忘れることのできないクラスとなりました。3週間本当にありがとうございました。

武蔵野音楽大学 音楽学部 音楽総合学科 坂井りずむ

母校である遺愛で、実習生として過ごした3週間はあっという間で、とても充実していました。音楽の授業や合唱練習で、みなさんが真剣に音楽と向き合い、助け合う姿に何度も心を動かされました。この実習を通して、多くのことを学び、「音楽の力」と「遺愛のあたたかさ」を改めて感じました。初日からあたたかく迎えてくれたK3Cのみなさん、そしてご指導くださった先生方、本当にありがとうございました。実習で学んだことを力に変え、これからも音楽と向き合い続けたいと思います。

東洋英和女学院大学 国際社会学部 国際コミュニケーション学科 一戸 夕香

教育実習はとても忙しく、大変な日々でしたが、その分自分の成長につながる貴重な学びとなりました。実際の現場で実践的に学ぶことで、教師という仕事のやりがいや難しさを肌で感じ、教師になりたいという思いがより一層強くなりました。また、生徒との関わりの中で多くの喜びや発見があり、教育の楽しさを実感しました。



教育実習の先生方